総合計画×地域福祉計画 タウンミーティング 〜伊賀市の未来を考える〜 アンケート結果(参加者情報)

[未来政策課、医療福祉政策課]

■日時:2025年6月15日(日)午後1時30分~3時30分

■場所:ゆめぽりすセンター

■参加者数:38人

これからの伊賀市の新しいまちづくりの方向性を示す「第3次伊賀市総合計画」、地域生活課題を明らかにし、 その解決のために必要となる「第5次伊賀市地域福祉計画」策定にあたり、様々な立場から伊賀市の未来につい て考えていただく場としてタウンミーティングを開催しました。

わたしたちのまちの魅力・課題を共有し、わたしたちにどんなことができるか、8つの分野に分かれて、アイデアなどを話しあっていただきました。

【分野】A防災、B健康、C高齢者福祉、D交通、Eこども、F住民自治・市民活動、G多文化共生、Hにぎわい

■属性

| | 回答者数 | 割合 |
|-----|------|------|
| 学生 | 2 | 6% |
| 社会人 | 23 | 74% |
| その他 | 3 | 10% |
| 未回答 | 3 | 10% |
| 計 | 31 | 100% |



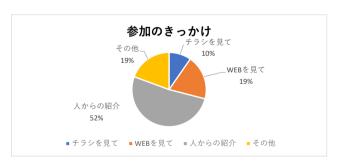
■年齢

| | 回答者数 | 割合 |
|-------|------|------|
| 19歳以下 | 1 | 3% |
| 20代 | 12 | 39% |
| 30代 | 2 | 6% |
| 40代 | 3 | 10% |
| 50代 | 5 | 16% |
| 60代 | 3 | 10% |
| 70歳以上 | 5 | 16% |
| 計 | 31 | 100% |



ご参加いただいた きっかけは、なにでしたか?

| | 回答者数 | 割合 |
|--------|------|------|
| チラシを見て | 3 | 10% |
| WEBを見て | 6 | 19% |
| 人からの紹介 | 16 | 52% |
| その他 | 6 | 19% |
| 計 | 31 | 100% |



主な意見

A・防災

| | 意見 |
|--------------|--------------------------|
| 強み | まだ近所のつながりが残っているところも多い |
| | 山など緑が多く自然豊かな環境 |
| 弱み | 変えるのをめんどくさがる人多い |
| | 防災を自分事として考えてない |
| 理想 | 地震がおきてもほとんどの人が自宅で生きていけてる |
| | 近所の人が国籍とか関係なく助け合えてる |
| 解決方法 (市民) | 自分ごと |
| 解決方法 (地域) | ハザードンの取得。情報の一元化 |
| 解決方法 (行政) | 近隣県と協議し、相互助け合いでのインフラ整備 |

B・健康

| | 意見 |
|-----------|---------------------------------------|
| 強み | 温泉がある |
| | ウォーキングコース、ランニングコースがある公園がある |
| 弱み | 大きい広い公園が近くにほしい |
| | 地域のサロン会場へ自ら行けない高齢者がいる |
| 理想 | 無人運転の乗り物で自分が運転しなくても移動できる |
| | スポーツ(くのいち)の活動の中で、いろんな人(子ども・大人)と関りを増やす |
| 解決方法 (市民) | 小さい子たちにサッカーの楽しさを教える |
| 解決方法 (地域) | 課題と取り組みを全員が共有すること |
| 解決方法 (行政) | 市(長)が明確なビジョンを示すこと |

C・高齢者福祉

| | 意見 |
|--------------|---------------------------|
| 強み | 生涯現役 |
| | いきいきサロンが開催されている(居場所がある) |
| 弱み | 農地の管理ができない |
| | 交通が不便 |
| 理想 | 農業に関心を持ってる若い人を地域へ来るように |
| | 誰かの「できない」を誰かの「できる」で解決 |
| 解決方法 (地域) | 若者がチームで農業する仕組み |
| 解決方法 (地域) | 比べることなく、共に生きることを考える、特に両隣と |
| 解決方法 (行政) | 民生委員を若者にもっと知ってもらう |

D・交通

| | 意見 |
|--------------|----------------------------------|
| 強み | 主要都市から近い |
| | 自転車走れる、走りやすい |
| 弱み | 道の駅 伊賀らしさがほしい |
| | バスの経路 |
| 理想 | 使いたい時に使える交通手段 |
| | 電車やバスの本数が増えている |
| 解決方法 (市民) | 観光受け入れ・民泊・体験 |
| 解決方法 (地域) | 伊賀へ初観光に来てくれた方々へのサービス ex.忍者体験?の無料 |
| 解決方法 (行政) | 他地域と連携できることは連携していく |

E・こども

| | 意見 |
|-----------|-----------------|
| 強み | 元気・素直・純粋 |
| | 自然豊か |
| 弱み | 学校が少ない |
| | 産婦人科が少ない(1つ?) |
| 理想 | 伊賀で就職する道がたくさんある |
| | 安心して子どもが産める |
| 解決方法 (市民) | 子どもたちへの指導など |
| 解決方法 (地域) | 地域での子育ての活性化 |
| 解決方法 (行政) | 特色ある教育 |

F・住民自治・市民活動

| | 意見 |
|------|---|
| 強み | 住民自治協議会で学習支援、地域食堂に取り組んでいる |
| | 協力すれば出来ることが増える |
| 弱み | 若者の流出 |
| | 過疎高齢化で共助が成り立たない集落が増えてきている |
| 理想 | 若い人が自治協で自由に参加活動できる |
| | 住民参加で地域で小農を増やす |
| 解決方法 | 若者が、働きたくなる職場づくり |
| (市民) | 石石ガ、割さたくなる場合フトグ |
| 解決方法 | 自治協の運営の見直し(数を集めるだけでなく、やりたい人、意欲のある人がやれる) |
| (地域) | 日口励の建古の兄直し(数を未めるたりでなく、ドッたい人、息臥のめる人がでれる) |
| 解決方法 | 伊賀市を会社と見立て全員で稼ぐ |
| (行政) | |

G・多文化共生

| | 意見 | |
|--------------|--|--|
| 強み | 大阪・京都などの都会に近い田舎→それを求める外国の方も多い | |
| | 小さい子どもの頃から外国人の方に接する機会が多いので、色んな国に興味が持てる | |
| 弱み | 外国人の方がまちづくりに参画しづらい(ミーティング等) | |
| | ルールや習慣が違うので理解できているのか?疑問に思う。 | |
| 理想 | このような場にも普通に外国人が参加している | |
| | 多国籍も含め新たなビジネスができる | |
| 解決方法 (市民) | 交流する(行政が少し手助けしてくれたら) | |
| 解決方法 (地域) | 住民自治のメンバーになってもらう | |
| 解決方法 (行政) | 外国人の方も参加しやすいよう広報する(イベント タウンミーティング) | |

H・にぎわい

| | 意見 |
|-----------|----------------------|
| 強み | 里山風景美しい |
| | 伊賀米おいしい |
| 弱み | 図書館が充実してない |
| | 農業後継者がいない |
| 理想 | 観光客が訪れるような街になる(今よりも) |
| | 古民家活用が盛んになる |
| 解決方法 (市民) | 色んなことに目を向ける 外に出る |
| 解決方法 (地域) | 協力し合う仕組み・体制づくり |
| 解決方法 (行政) | 食糧の生産を重要視 |